

## シリーズ2、庭木に利用する樹種の特徴と管理

### —ヤマブキ—

日本樹木医会富山県支部  
樹木医 西村 正史

4～5月頃、新葉とともに黄色い花をたくさん咲かせる樹木があります。これは、古くから日本人に愛されてきた花木の一つであり、ヤマブキと言います(図1)。今回はこの花木を紹介します。

#### 1. 特徴

バラ科ヤマブキ属の落葉低木です。この属にはヤマブキだけが含まれる一属一種です。北海道から九州まで分布しており、低い山の明るい林の木陰などに群生しています。枝は細くて柔らかく、背丈は1～2mで、株立ちするという特徴があります。明るい黄色の花を小枝の先端につけます(図2)。花びらは5枚で一重ですが(図3)、八重咲きの園芸品種、ヤエヤマブキもあります。これはヤマブキより少し遅れて咲きます。

#### 2. 維持管理

樹形は自然にまとまっていきますので、むやみに枝を切る必要はありません。植えてからだいたい5年くらい経過すると古い枝の勢いは弱ってきますので、そのような枝は根元から10cmほど残して切り落とし、若い枝の生長を促します。その他は、混み合った部分の小枝や枯れた枝を刈り込む程度にして、全体をばっさり刈り込まないようにしましょう。翌春に咲く花芽は前年の夏に形成されますので、その後には枝を切ると花芽を切り取ってしまうことになりますので、翌年には花が咲きません。注意してください。

この樹木は、自然の状態では木漏れ日が差すような場所で、湿度の比較的高い沢沿いなどに自生していることから、あまり日射しの強い場所は好みません。そのため、庭に植える場合は西日や直射日光の当たるような場所を避け、半日陰で、肥沃で、適度に湿っている場所に植えるようにしましょう。庭の土壌がやせているような場合には、土壌改良を行ってから植栽してください。寒さには強く霜に当たっても枯れることはありませんので、防寒対策をする必要はありません。

なお、ヤマブキによく似た花木にシロヤマブキがあります。この花木も庭木として利用され

ています。ヤマブキと異なる点は、花びらが4枚で純白であることと、ヤマブキ属ではなくシロヤマブキ属であることです。



図1 ヤマブキ (2013.4.12に撮影)



図2 開花間近のヤマブキの蕾 (2012.4.19に撮影)



図3 ヤマブキの花 (2011.4.26に撮影)

※写真はすべて富山県中央植物園で撮影したものです。